

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	骨折理論（上肢）	
科目基礎情報					
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	教科書（柔道整復理論 -社団法人 全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。				
担当教員情報					
担当教員	連本 宏一	実務経験の有無・職種	有・柔道整復師		
学習目的					
<p>柔道整復の歴史は古く、武道と結びつくことで独特の発展を遂げ、その医療技術は柔道整復術として現代に継承されている。近年の高齢化やスポーツ愛好家の増加に伴い、柔道整復師による手術をしないで怪我を治す技術、整復や固定といった技術に対するニーズは年々高まっている。患者の肉体的な苦痛を一刻も早く取り去り、患部の回復を図ることによって早期に社会復帰させるためには適切な知識と技術が必要であり、なおかつ患者からの信頼と尊敬を得ようとする人間性の向上も必要である。</p> <p>医学的知識や技術だけではなく、人間性の向上も含めた学習を理解することがねらいである。</p>					
到達目標					
<p>柔道整復術の観点から上肢の骨折に対して、部位別に具体的な外傷の発生機序、症状（一般外傷症状・固有症状）、病態や整復・固定・後療法などの施術の判断や方法に至るまでの注意事項を学ぶことができる。</p> <p>あわせて骨障害としての骨損傷を学ぶ上で必要な機能解剖学を理解する。</p> <p>骨折を理解するためには、骨折に関連した運動器の機能解剖学を理解することが、骨折による骨片の転位、整復、固定を考える上で重要である。</p>					
教育方法等					
授業概要	上肢を中心に骨傷害としての骨折を学ぶ上で必要な機能解剖学を学ぶとともに、骨折の発生機序、症状、骨片転位、整復、固定、後療法、全体のプログラム、指導管理、予後、注意事項等を学ぶ。				
注意点	実技的要素が高く卒業後は患者の体を扱うため、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視するとともに授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。社会、特に医療の現場の動きや学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
平常点	0%				
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	オリエンテーション 柔道整復師と骨折	年間を通じての内容説明、心構え、注意点等を理解する。柔道整復師と骨折について理解する。			
2回	鎖骨骨折	鎖骨骨折に対して、その特徴、病態、発生機序、症状、施術の判断・方法を理解する			
3回	鎖骨骨折	鎖骨骨折に対して、その特徴、病態、発生機序、症状、施術の判断・方法を理解する			
4回	肩甲骨骨折、上腕骨近位端骨折	肩甲骨骨折、上腕骨近位端部に対して、その特徴、病態、発生機序、症状、施術の判断・方法を理解する			
5回	肩甲骨骨折、上腕骨近位端骨折	肩甲骨骨折、上腕骨近位端部に対して、その特徴、病態、発生機序、症状、施術の判断・方法を理解する			
6回	上腕骨外科頸骨折	上腕骨外科頸骨折に対して、その特徴、病態、発生機序、症状、施術の判断・方法を理解する			
7回	上腕骨外科頸骨折、上腕骨大結節骨折	上腕骨外科頸・大結節骨折に対して、その特徴、病態、発生機序、症状、施術の判断・方法を理解する			
8回	1回から7回の振り返り	上肢帯から上腕筋位の骨折について振り返り理解する			
9回	実技の成果発表	鎖骨骨折の整復・固定法			
10回	上腕骨骨幹部骨折	上腕骨骨幹部骨折に対して、その特徴、病態、発生機序、症状、施術の判断・方法を理解する			
11回	上腕骨骨幹部骨折、上腕骨顆上骨折	上腕骨骨幹部・顆上骨折に対して、その特徴、病態、発生機序、症状、施術の判断・方法を理解する			
12回	実技の成果発表	包帯固定実技			
13回	上腕骨顆上骨折	上腕骨顆上骨折に対して、その特徴、病態、発生機序、症状、施術の判断・方法を理解する			
14回	9回から13回の振り返り	上腕近位から遠位までの骨折について振り返り理解する			
15回	半期の総括	全体のまとめ			